

# 民間航空機内の違反行為に対する罰則強化

1 平成23年（2011年）3月16日、カタール政府は、これまで民間航空機内の各種違反行為を規制していた2002年第15号法を改正し、同違反行為に対する罰則を大幅に強化または新設した2011年第3号法を公布しました。

2 この概要は次のとおりです。以下（3）のとおり、機内における各種違反行為に対する罰則が極めて厳しく規定されています。

※ なお、1カタール・リアル（QR）は約33円です（2015年7月現在）。

## （1）適用範囲

カタール国籍の民間航空機またはカタール領空を航行中の民間航空機等の機内

## （2）適用対象

全ての搭乗客

## （3）違反行為に対する罰則の例

### ア 機内における喫煙行為

罰金3万QR

### イ 煙探知機に損壊を加える行為

3年以下の禁固または罰金10万QR

### ウ 航行中に使用が常時制限されている電子機器を使う行為

（駐機中のみ使用できる電子機器を航行中及び地上走行中に使う行為等を含む）

罰金3万QR

### エ 機長による保安上の指示に従わない行為

3年以下の禁固または罰金10万QR

### オ 酒に酔ってまたは薬物を使用して安全航行に支障を及ぼす等の行為

3年以下の禁固または罰金10万QR

### カ 乗務員または他の乗客に対する暴行、セクハラ、暴言行為

3年以下の禁固または罰金10万QR

## （4）その他

いずれの違反行為も、再犯者については罰則が倍加されて適用される。

3 航空保安に関する各種法令、規定を遵守されるようお願いいたします。特に、上記2（3）ウのとおり、航行中に使用が制限されている電子機器を機内で使用する行為等にも厳しい罰則が規定されていますので、機内で電子機器を使用される場合には、その電子機器が機内において使用が常時制限されている機器であるか、あるいは駐機中のみ使用できる電子機器であるか等に十分ご注意ください。

また機内で喫煙した日本人が、罰せられた例もあります。